

好きな食べ物は何？ しらゆり保育園（島根県松江市）

[5 歳児]

<きっかけ>

A 児がカタツムリをカップに入れ、保育園に持って来た。子どもたちが集まりしばらくじっと見ていたが、B 児がツノを触ったことをきっかけに「ツノってどれ？」「ヤリって何？」「じゃあ目玉は？」という話題になった。

<どんな所にいるかな？>

カタツムリへの興味が広がり、いろいろな所で毎日カタツムリを探す。野草の咲く所、草むら、畑などを探すが見つからない。

見つけた所

- ・裏庭のアイビーとコンクリートの所：赤ちゃんカタツムリもたくさんいる。どうしてコンクリートの所にいるのかな？
- ・カイズカイブキの木とアジサイの所：ここにもいっぱいいる。涼しい所が好きなのかな。木の皮を食べてみたい。
- ・柏の木の上：こんなに高い所にいる。柏の木が好きなのかな。どうしてこんなに高い所にいるの？



カタツムリを見ながら…。

「これがツノかな？」
「こっちかな？」
「ヤリって何？」
「じゃあ目玉は？」
「ツノの先に出てくる黒い点が目でしょ」
「下の方に伸びるのがヤリだと思う」
「一番長く伸びるのがツノだよ」
「わぁ！カタツムリと目が合った」

調べてわかったこと

- ・涼しい所を求めて木の上に登る。
- ・カイズカイブキの苔を食べている。

カタツムリがいた所に名前をつけて看板を作る

- ・裏庭のアイビーとコンクリートの所＝「崖の上のツムちゃん」
- ・カイズカイブキの木とアジサイの所＝「ツムちゃんの森」

<飼ってみよう>

どうしたらいいか考える	やってみる	数日後 [元気がなくなる]
<ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱが好きだと思う。 ・やっぱり水が好きなんだ。 ・涼しい所が好きだから、涼しくしてあげよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジサイの葉っぱをあげよう。 ・たくさんお水を入れてあげよう。 ・ガーゼを湿らせてケースに被せよう。新聞紙を入れよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱがカラカラになる。 ・水をあげすぎて溺れてる。 ・ガーゼも新聞紙もカラカラになる。

○飼ってみてわかったこと（失敗からわかったこと）

- ・カタツムリはきれいな所が大好き。 → ウンチは取ってケースを洗い、いつもきれいにしよう。
- ・水気がないと元気がない。カラカラになって殻の中に閉じこもってしまう。 → カラカラになったら霧吹きをかけてあげよう。湿った新聞紙にしてあげよう。
- ・水をあげすぎると溺れる。 → 水をあげすぎない。新聞紙を毎日替えよう。
- ・食べ物か葉っぱだけだと元気がない。 → 葉っぱだけでなく、好きな食べ物をあげよう。
- ・一匹だと寂しそう。 → 一匹だけでは寂しいから友達を探してあげよう。



<雨の日、カタツムリを探しに行く>

飼育の失敗から、「今度は上手に育てたい！」という気持ちが湧き、カタツムリの友達探しが始まり一匹でも沢山探したいという強い思いになった。そこで、「雨の日なら見つかるかもしれない」と考えた子どもたちは、雨合羽を着て「崖の上のツムちゃん」「ツムちゃんの森」に探しに行った。

“カタツムリの友達探し”の途中でなかなか見つからなかったり、高い所にいて捕れなかったりするなどの困難に出会っても、みんなで協力したり思いやりながら進めた（子どもたちの優しい気持ちも育まれたのではないかと感じる姿）。また、どんなに一生懸命に探しても見つからず、簡単には答えてくれない自然の摂理として、自然の厳しさを感じ取ったのではないかと。

<好きな食べ物は何?> みんなが育てた野菜を食べるかな?

キュウリ	ゴーヤ	トマト	ニンジン	ズッキーニ
キュウリ好きだよ。	ガリガリかじってる。種も食べてる。	美味しいみたい。	ニンジンに穴があいてる。歯が強いんだね。	あまり食べていない。嫌いなのかな?
いっぱいウンチしているよ。キュウリの匂いがする。	ウンチが緑色だ! 箸でつつくとガリガリ聞こえる。	ウンチが赤いよ。少しトマトの匂いがする。	オレンジ色のウンチだ! ニンジン色だ。	

給食の野菜を食べるかな?

カボチャ: 食べる。

タマネギ: 食べない。泡を噴いて殻に隠れた。涙出て苦しいの?

ジャガイモ: 食べない。美味しくないの?

ゴーヤの種を食べてる



<どんな所を歩けるの?>

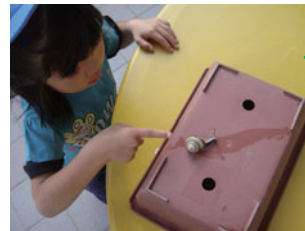
絵本や図鑑で、カタツムリは栗のトゲの上を歩いても大丈夫だと知る。「痛くないのかな?」「トゲ刺さらないのかな?」「どうしてケガしないんだろう?」「どうやって歩いているんだろう?」と不思議や疑問を感じ興味津々で試してみる。

よく見る。→カタツムリって泡出して歩いている。だからケガしないんじゃない。

→図鑑を見る。→首からネバネバ出してる。きっと泡の力だ。

○カタツムリがどんな所を歩けるのか、みんなで試してみよう!

- ・栗のとげの上(図鑑にあった)…歩ける
- ・水の道(水が好きだから歩くかな)…水のある方に歩いていく。ネバネバはあまり出ていないけど、歩いた跡には泡が少しある。
- ・糸の上(図鑑にあった)…始めは糸に登れなかったけど、じっと見ていたら糸に登って歩き始めた。
- ・包丁葉っぱ(カヤ)…歩いた。落ちないのかな?大丈夫だ。切れていない。どうして切れないのかな?
- ・遊びに使っている作った剣…わぁ、剣の下を上手に歩いてる。すごい!逆上がりしてる。キリンみたいに首が伸びてる。ネバネバ出して歩いてる。
- ・カキ氷の残りの氷の上(暑いから喜ぶと思う)…じっとしてる。歩かない。動かない。泡いっぱい出してる。嫌な時に泡をいっぱい出すのかな?玉ねぎの時も泡出した。冷たすぎるのかな。殻の中に入ってしまって動かない。カタツムリは冷たすぎる所も熱い所も嫌いみたい。



水の道

剣の道



考察

カタツムリに興味広がりが「好きかな?食べるかな?」と試す姿に、上手に育てようとする気持ちが強く表れていた。自分たちが育てた野菜はきっとカタツムリも好きだという思いが強かったようだ。そのため、ズッキーニを食べないことは不思議で、「どうしてだろう?」と考えている様子であった。更に、食べた物と同じ色のウンチをすることや、歩く所や歩き方などの面白さ、不思議さにも出会った。疑問に思っていたことを、実際に試す体験を通して「ケガをせずにいろいろな所を歩くにはネバネバが大切な物である」「カタツムリが嫌な時には泡をいっぱい出して殻の中に入ってしまおう」ことを理解したように思う。保育者も同じ思いで共感したことが、更なる意欲へとつながったと考える。

ポイント

カタツムリのツノやヤリに興味をもったことがきっかけになり、子どもたちから様々な不思議や疑問が出てきました。自分たちの疑問や不思議を探求できる環境があることで、5歳児なりに予想をしたり期待をしたりして思ったことを意欲的に表し、試しています。興味深まり、食べ物や動き方などを観察することでカタツムリの思いを感じ、さらなる探求の姿につながっています。また、生態や特徴を理解することに結び付いています。